

東京都足立区立千寿青葉中学校
第1学年出張授業資料

仕事をする上での取り組み、大切にしていること

—社会の一員として、仕事の上で、大切なこと—

「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」

「自覚をもって学べば、『人生は青天井、一生青天井』『一生勉強、一生青春』」



2026年7月1日(水)

8時40分～9時30分

40分授業(質疑応答10分)

開倫塾塾長
開倫塾日本語学校理事長・校長
林 明 夫
(公益社団法人経済同友会会員)

Q 1 : 仕事とは何ですか。

- A : (1)「仕事」とは、もの(製品)やサービスをお客様(顧客)に提供し、「お客様」の困っていること、問題を解決し、「お客様のお役に立つこと」と考えます。
- (2)同じように困っているお客様が、世の中にはいらっしゃいますので、「仕事とは、お客様や世の中のお役に立つこと」だと考えます。
- (3)多くの「製品」や「サービス」には、「競争相手」や、「代わりになる製品やサービス」があります。

＜ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(I)です＞

(1)皆様の興味のある仕事は何ですか。1つ書いてください。

(2)その「仕事」はどのような「製品」や「サービス」を提供していますか。

(3)その「仕事」の「お客様」は誰ですか。

(4)「お客様」の「困っていること」「問題」は何ですか。

(5)その「製品」や「サービス」の「競争相手」や、「代わりになる製品やサービス」は何ですか。

＜ご参考＞

「マーケティングの4 P」と「お客様(顧客・こきゃく)」に対する意味。

- (1)「Product (プロダクト、製品・サービス)」……「顧客の問題解決になっているか」
- (2)「Price(プライス、価格・値段)」……………「顧客の負担になっていないか」
- (3)「Place(プレイス、場所・流通)」……………「顧客にとって便利か」
- (4)「Promotion(プロモーション、広告・宣伝)」…「顧客とのコミュニケーションになっているか」

○「マーケティングの4 P」とは、「もの」や「サービス」を販売する時に欠かせない「P で始まる4つのことば」です。＜ご参考まで＞

Q 2 : 人はなぜ仕事をするのですか。

- A : (1)「お客様や社会のお役に立つため」
- (2)「生活できるだけの収入を得るため」
- (3)「仕事を通して、自分の夢や希望を実現するため」(自己実現)

Q 3 : 仕事の厳しさは何ですか。

A : (1)「お客様の困っていること、問題」が、世の中の変化と一緒に(いっしょ)に、どんどん変化し続けること。

(2)「人口がどんどん減り続け、お客様が少なくなること。働き手が少なくなること」

(3)「コロナ禍」や「大規模災害」などで「仕事をするのが、難しくなること」

Q 4 : 仕事の課題は何ですか。

A : (1)「発達し続ける AI や科学技術を、どのように活用するか」

(2)「日本だけでなく、世界中の皆様とどう仕事をするか」

(3)「女性やシニア、障がい者、外国出身の皆様とどう仕事をするか」

(4)「仕事を通して、地域や日本、世界の課題をどう解決するか」

(5)「どうチーム(組織)を作り、メンバーの力を合わせ、仕事をするか」

<ご参考>「仕事は、チームで行う」

(1)「メンバーは、仕事についての知識・情報・技術を身に着けること」

(2)「仕事について学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」

(3)「チームプレイ」とは、「メンバーを信頼」、「自分のポジションは自分の責任で行うこと」

(4)「すべてのチームにはリーダーがいます」

○「リーダー」は、「チームを、出発地から、いくつかの(途中の)中継地を通り、目的地(ゴール)までリードする人」

< リーダーの心得>

①「いばらないこと」「ことばづかいはいねいに」

②「なぜ、このことを行わなければならないかを、ていねいに説明すること」

③「メンバーの意見を聞くこと」「耳に痛いことをいう人は尊いと考えること」

<ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(Ⅱ)です>

「リーダー」とは、どのような人だと思いますか。

Q 5 : 社会に出る前に、中学校・高校時代に身に付けておくといふことがありますか。

A : あります。山ほどあります。

(1)①中学校・高校の各学年で学ぶ各教科の内容は、社会に出て、「仕事」「社会的活動」「日常生活」「よく生きる」うえで、全部、役に立ちます。

②ですから、全教科、しっかり学びましょう。

③「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」を目指しましょう。

(2)①学校を卒業した後も、中学校・高校の「教科書」「学校問題集」「教材」「授業ノート」「辞書」「地図帳」「年表」などは、捨てないで、きちんと「整頓(同じところに置く)」。

②折に触れて学び直す、一生かけて学び直すことを、おすすめします。

③「武士の刀」と同じで、「手になじんでいます」から、「すぐ思い出され、卒業後も、全部、役に立ちます」

Q 6 : 「効果の上がる勉強の仕方」を身に着けることも、社会に出てから、大切なのですか。

A : はい。社会に出てからも、新しく学ばなければならないことが、山ほどあるからです。

(1) 「予習の仕方」

①社会に出て学ぶときには、自分ひとりで、テキストを学ばなければならないので、「予習」をするのと同じだからです。

②自分の好きな教科だけでもよいですから、「予習」の仕方を、中学校・高校時代に身に付けておきましょう。

③テキストを音読して、読み方や意味のわからない語句があったら、「辞書」で「読み方」と「意味」を調べ、調べたことは、「ノートに書き写す」。そして、その場で覚える。

○「何がわからないかをはっきりさせてから、授業に臨む」のが「予習」の目的。

(2) 「授業の受け方」

①「授業」は、先生の目を見て、しっかり聞き、「大切なことは、ノートし続ける」。

②社会に出ると、大切なことは「メモし続け」、「メモを整理」し、「仕事をし続ける」ことが求められます。

③「仕事はメモで身に着ける」といわれるほどです。

④中学校・高校で、授業で大切なことを教わったら、「ノートを取る」。授業後、「ノート整理」し、「理解を深める」こと。

○「仕事」や「社会的活動」では、「メモ」は不可欠です。「授業中に大切なことをノートに取るのは、社会に出てから、メモを取るための、よい訓練になります」

○大切なことをノートでき、メモできるのは、高度な言語能力です、すぐには、できません。

(3) 「復習」

①「一度学んだこと(教科書や授業ノート)を、もう一度読み直す」

②「計算や問題は、もう一度、全部解き直す」

③「読み方や意味のわからないことばは、辞書で調べ、調べたことは、ノートに書き写し、その場で覚える。」

(4) 「定着」(予習、授業、復習で「理解」したことを、身に着けるのが、「定着」)

＜定着のために、次の3つの練習があります。これが「定着のための3大練習」です＞

①「音読練習」：スラスラよく読めるようになるまで、大きな声で読む練習。

○何も見ないでいえるようになるまで、何回も読む練習をし、「暗唱」しましょう。

②「書き取り練習」：書き順も含め、正確に書けるようになるまで、何回も書く練習。

③「計算・問題練習」：なぜそのような解き方や答えになるか、よく理解できた計算や問題は、見た瞬間に、条件反射で正解が出るまで、何回も解き直す。

(5) 「応用」

①「テストでよい点数が取れる」：「過去問を何回もやり直す」

②「不得意なところは、わからないところまで遡り、わかるまで、しっかり学び直す」

③「仕事や社会的活動、日常生活、よく生きるために、役立てることができる」

○「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)」

(6)「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しみ「読解力」を身に着けましょう。

①「辞書」で身に着くのは、「ことばの力」:「ことばは力」

②「新聞」で身に着くのは、「自分で考える力」「批判的思考能力」

③「読書」で身に着くのは、「思慮深さ」「自省心」(自分を振り返る力)

④「図書館(学校図書館、公共図書館、大学図書館)」を、「自分の居場所(サードスペース、ほっとできる場所)」にしましょう。

＜ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(Ⅲ)です＞
勉強の仕方がよくわからなくて困っていることがありますか。あったら書いてください。

Q 7 : 社会に出てから必要なことで、中学校・高校時代に身に付けておくといよいものは、他にもありますか。

A : (1)「5 S」……「S(えす)ではじまる5つのことば」

①「整理」(seiri)……「いらないものは処分する」

②「清掃」(seisou)……「きれいに掃除」

③「整頓」(seiton)……「ものは同じところに置く」

④「清潔」(seiketsu)……「①～③を継続」

⑤「躰」(shitsuke)……「自分から進んで行く」

(2)「別の意味の躰(しつけ)」

①「美しい立ち居振る舞い(たちいいふるまい)…」「服装第一」「After you」(お先にどうぞ)

②「美しい言葉遣い(ことばづかい)」…「敬語表現を含む言葉遣い」「です・ます」で話す

③「元気なあいさつ」「あいさつは、こちらからする」

Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)「自分のよいところを、自分の力で見つけ出し、自分の力でどんどん伸ばそう」

(2)「みんなのよいところ、地元のよいところもどんどん見つけ、みんなで引き伸ばそう」

(3)「励まし合う仲間づくり」を！

ご清聴、ありがとうございました。

ご意見、ご質問、ご感想あれば、どんどんご発言ください。

以上

<プロフィール>

- ・栃木県立足利高等学校卒業・慶應義塾大学法学部法律学科卒業
- ・世界銀行研究所、ハーバード大学行政大学院国際開発研究所の各々で公共部門の民営化短期集中コース修了
- ・マニー株式会社社外取締役（2004～2010年）
- ・栃木県教育委員会栃木県社会教育委員（2004～2012年）
- ・公益社団法人経済同友会幹事（2004年～2023年）

<現在>

- ①株式会社開倫塾 塾長、開倫塾日本語学校理事長・校長、開倫ユネスコ協会 会長
- ②学校法人有朋学園有朋高等学院理事長（福島市）
- ③スカイ学校支援ネットワークセンター理事
- ④一般社団法人栃木県生産性本部会長・栃木県経営品質協議会副会長
- ⑤足利商工会議所議員、足利5S学校役員、日本商工会議所労働専門部会委員
- ⑥社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事（足利市）
- ⑦公益社団法人栃木県経済同友会理事、公益社団法人経済同友会(東京)会員、群馬経済同友会会員
- ⑧公益財団法人文字活字文化推進機構評議員
- ⑨宇都宮大学客員教授・作新学院大学客員教授
- ⑩C R T ラジオ栃木放送・開倫塾の時間「林明夫の歩きながら考える―社会人を含め効果の上がる学習方法を考える―」毎週土曜日午前9時15分～25分担当、40年目。